第５学年○組外国語科学習指導案

令和４年○月○日（○）第○校時

活動場所　　５年○組教室

指導者　　教諭　○○　○○　　　〇　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ALT　○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
| 本時の目標 | 夢のメニューを選んで買い物をしよう。 |
| 本時の主な活動 | 店員と客に分かれて注文したり会計をしたりをする。 |

１　単元名　　『NEW HORIZON Elementary 5』Unit 6　What would you like?　何がお好きですか

２　単元について

本単元は、小学校学習指導要領外国語科(3)話すこと[やり取り] イ「日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。」を受けて設定している。丁寧な表現を用いて商品を注文したり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、店員として商品をお客に勧めたり、状態や味覚を表す形容詞を用いて商品を説明したりすることができるようになることを目標としている。本単元で用いる表現は、４年次に『Let’s Try 2』 Unit 7 What do you want? で学んだ、相手の欲しいものを尋ねる表現をさらに発展させたもので、実際のコミュニケーションの場面でも頻繁に活用される表現である。please 以外の英語での丁寧な表現の初出で、相手や場面に応じたやり取りを意識させる内容である。

３　児童の実態について

本学年の児童に外国語のアンケートを行ったところ、「英語をもっと話せるようになりたい」と回答した児童は91％だった。しかし、「習った英語を使ってALTや友達と話すことができる」に関しては32％が「そう思わない」と回答している。また、「ALTの話している英語が分かる」については29％が「そう思わない」と回答していることから、英語の必要性は感じているものの、実際に話したり理解したりすることが困難と感じている児童が多いことが分かった。授業としては第1，2学年時に年間 10 時間、第3，4学年時に年間 35 時間外国語活動を学んできている。第5学年から外国語科に変わり、週に2時間学習している。外国語に親しんでいる児童は積極的に発言し取り組むことができる一方、外国語に苦手意識をもつ児童も多く、やり取りの中で日本語を使ったり積極的にやり取りを行えなかったりする姿がある。黒板にやり取りの流れを掲示したり、教員がそばについてサポートしたりしないとやり取りを行えない児童も数名いる。外国語活動から外国語科へ変わり、週2時間に増えたことや表現が難しくなってきていることから、単元末に行うテストや授業中に何度も使った表現などを間違える児童もおり、定着においても課題がある。

４　単元の目標

* 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり会計したりすることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり伝え合ったりすることができる。〈知識及び技能〉
* アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。〈知識及び技能〉
* 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。〈思考力・判断力・表現力等〉
* 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。〈学びに向かう力・人間性等〉

５ 研究主題と仮説に対する手立て

（１）研究主題とめざす児童像

外国語によるコミュニケーションを楽しむ児童の育成

～他者との関わりを大切にし、外国語がわかる・できる児童を目指して～

めざす児童像

「外国語で自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えや気持ちを理解した

りしている」

（２）研究仮説と手立て

仮説①　　単元構想を工夫し必要感や達成感を味わわせる学習指導を行えば、児童

が進んで自分の気持ちや考えを伝え合うことができるのではないか。

【手立て】

・毎回の授業の中で、その日の学習内容に結び付くゲーム的要素のあるアクティビティを取り入れ、友達との交流を楽しみながら学習内容に対する必要感を味わわせる。

・１時間毎に学習するべき話型を習熟させる。それを積み重ねていき、単元後半で学習内容を活　用した会話ができるようにし、達成感を味わわせる。

仮説②　　児童の実態を把握し、外国語に親しみ楽しむ機会や環境を整え、活用し

ていけば、外国語に関する興味・関心が高まり、外国語を用いたコミュ

ニケーションを楽しむことにつながるのではないか。

【手立て】

・あいさつやリアクション例など、日常的に使える語句や文例を出入口等に掲示することで、外国語の時間に限らず生活の中で外国語を発することができるようにする。

・日付や曜日など、児童が目に触れやすい場所に外国語を取り入れることで、外国語に関する興味・関心を高める。

・児童と関わるときに、児童に外国語を使った答えを求めてみたり、教科領域を問わず児童の表現に対する教師の反応を、外国語を活用した表現にしてみたりすることで、外国語に触れる機会や外国語を使ったコミュニケーションの機会を増やす。

６　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 聞くこと聞 | ・「What would you like?」「I’d like～.」「How much is it?」「It’s～yen.」およびその関連語句などについて理解している。  ・ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、聞き取る技能を身に付けている。 | ・「相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりする」ことなどについて、短い話の概要を捉えている。 | ・「相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすること」などについて、短い話の概要を捉えようとしている。  ・「外国語の背景にある文化に対する理解を深める」ために、日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。 |
| 話すこと  〔やり取り〕や | ・「What would you like?」「I’d like～.」「How much is it?」「It’s～yen.」およびその関連語句などについて、理解している。  ・ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、「What would you like?」「I’d like～.」「How much is it?」「It’s～yen.」およびその関連語句を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 | ・自分のことを伝え、「相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりする」ことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 | ・自分のことを伝え、「相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすること」などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。  ・「外国語の背景にある文化に対する理解を深める」ために、地域の特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 |
| 書くこと書 | ・「アルファベットの活字体の大文字・小文字」について、理解している。  ・「アルファベットの活字体の大文字・小文字」を書く技能を身に付けている。 |  |  |
| 読むこと読 | ・「アルファベットの活字体の大文字・小文字」について、理解している。  ・「アルファベットの活字体の大文字・小文字」を識別したり、その名前を発音したりする技能を身に付けている。 |  |  |

評価規準においては、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わないこともある。

７　単元計画（８時間扱い）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | ♦目標・〇活動 | 評　価 | | | |
| 知・技 | 思・判・表 | 態 | ◎評価規準＜評価方法＞ |
| １ | ♦ レストランでのやりとりを聞いて、おおよその内容を理解する。 | 聞 |  |  | ◎ていねいな注文のしかたについて理解している。＜行動観察・ワークシート＞ |
| 〇Starting Out  〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Let's sing  〇Small Talk（既習表現） |
| ２ | ♦レストランでのやりとりを聞いて、丁寧な言い方を知る。 | 聞 | 聞 |  | ◎値段のたずね方など、やり取りの内容について理解している。＜行動観察・ワークシート＞  ◎会計したりすることについて、  　短い話の概要を捉えようとしている。〈行動観察〉 |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Let's sing  〇Let's Chant①  〇Let's Listen①  〇Let's Try 2  〇Let's Write |
| ３ | ♦注文した料理の値段をたずねたり、金額を伝えたりする。 | 話 |  |  | ◎注文したり会計したりするやり取りの内容を理解している。  ＜行動観察＞ |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Let’s Chant②  〇Let's Try 3  〇Let's Write |
| ４ | ♦丁寧な言い方で注文する。 | 話 |  |  | ◎ていねいな表現を使って、注文したり会計したりする技能を身に付けている。＜行動観察＞ |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Let's Listen② |
| ５ | ♦夢のメニューを考える。 | 読 |  | 話 | ◎「アルファベットの活字体の大文字・小文字」を識別したり、その名前を発音したりする技能を身に付けている。  ◎ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。＜行動観察＞ |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Let’s sing  〇Let’s Chant①  〇Let's Try④ |
| ６ | ♦お店でのやりとりを工夫する。 |  |  | 聞 | ◎「外国語の背景にある文化に対する理解を深める」ために、日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。＜行動観察＞ |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Practice  〇Let's Write |
| ７  本時 | ♦夢のメニューを選んで買い物をする。 |  | 話 |  | ◎料理や注文、値段などについて、丁寧な言い方で尋ねたりして伝え合っている。  ＜行動観察＞ |
| 〇Word Link　数（１００〜）　食べ物  〇Demonstration  〇Practice  〇Activity |
| ８ | ♦単元テストで理解を確認する。 | 聞  読  書 | 聞 | 聞 | ◎・「What would you like?」「I’d like～.」「How much is it?」「It’s～yen.」およびその関連語句などについて理解している。<テスト>  ◎アルファベットの大文字・小文字について理解し、正しく書く技能を身に付けている。  <テスト> |

8　本時の展開

目標　　　夢のメニューを選んで買い物をしよう

準備物　　デジタル教科書デ教　　Picture Dictionary PD 食べ物絵カード食カード　トレイトレイ

〇本時の展開（　7／8　）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 〇児童の活動 | ・指導者の活動  　（ＨＲＴ） | ・指導者の活動  （ＡＬＴ） | ◇指導の留意点  ◎評価＜方法＞ | 準備物 |
| 2分 | 〇Hello Time  ALTとあいさつをする。 | ・全体に挨拶をする。  ・Class leader please. | ・全体に挨拶をする。  ・Hello Time.  ・How are you?  ・How is the weather today?  ・What day is it today?  ・What is today's date? | ◇笑顔で挨拶し、外国語の授業を行う意識や雰囲気を高める。 |  |
| 4分 | 〇Review  学習してきた英単語について復習する。 | Practice Words  ・Open your picture dictionaries to page 8 and 9. | ・デジタル教科書の反復練習を再生しながら、先行で発音する。 | ◇食べ物・デザート・飲み物・数についてPDを見せながらクラス全体を引き込ませるようにする。  ◇テンポよく2回練習させる。絵を参考にして自信をもって声を出させるよう助言する。 | デ教  PD |
| 2分 | 〇Introduction | Demonstration  Ｈ　What would you like?  Ａ　I’d like ○○,please.  H　How many do you want?  A　One, please. How much is it?  Ｈ　It’s 〇〇yen./ Sorry, no 〇〇.  A　OK！Here you are.  H　Thank you！  A　Thank you. See you！ | | ◇はっきり、ゆっくりとやりとりを見せ、本時の活動を児童に理解させる。  ◇自然な会話になるような工夫を取り入れる。 |  |
| 1分 | 〇Today‘ｓ goal  ・ALTとのやり取りを聞いて、今日の活動を知る。 | ・めあての確認をする。 | Today’s Goal:　　夢のメニューを選んで買い物をしよう | ◇ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることができるように目的意識をもたせる。 |  |
| 4分 | 〇Practice1  ・ALTのあとについて、練習する。  ・ペアで練習する。 | ・ＡＬＴの発音をよく聞き、ゆっくり、はっきりを意識して練習するように伝える。 | ・単語やセンテンスを先行で発音する。 | ◇やりとりがうまくできない児童は、個別に指導し、自信をもたせる。 |  |
| 30分 | 〇Practice2  ・はっきりとした声  ・表情  ・ジェスチャー | Activity  ・活動内容について説明する。  ・夢のメニューと金額を確認させる。  ・お店と客の準備をさせる。 | Activity  ・机間指導をしながら、発音間違いや単語の抜けなどに気をつけて、児童の活動を観察する。  A　What would you like?  B　I’d like ○○,please.  A　How many do you want?  B One, please. How much is it?  A　It’s 〇〇yen./ Sorry, no 〇〇.  B　OK！Here you are.  A　Thank you！  B Thank you. See you！ | ◇活動内容が把握できるように説明する。  ◎料理や注文、値段などについて、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取ったり、丁寧な言い方で尋ねたりして伝えあっている。  〈行動観察・振り返りシート〉 | 食カード  チケット |
| 2分 | 〇Finish  ・Today’s Goalを振り返る | ・本時のねらいについて、達成できたか確認する。  ・あいさつをする。 | ・Did you enjoy shopping？ | ◇相手に伝わりやすいように、はっきりとした声で、メニューや金額を尋ねたり答えたりして、やり取りした様子を称賛する。 |  |

９　板書計画

Today’s Goal　　　　 　　　夢のメニューを注文しよう

Introduction

A/B Hello!

A　What would you like?

B　I’d like ○○, please

A　How many do you want?

B　One, please. How much is it?

A　It’s 〇〇yen./ Sorry, no 〇〇.

B OK！/Here you are.

A　Thank you！

B　Thank you. See you！

Finish

Practice2

Practice1

Review

Hello Time

Food Menu